

よりよいまちをつくる 建設的な提案を

新しい価値が魅力をつくり、魅力に惹かれて人が集まり、経済と文化が活性化する江別を目指して、議会の一般質問[★1]をしています。今回、その一部を掲載いたします。ぜひ、ご感想などをお聞かせください！

★1：議員個人が市政全般について市長に説明を求め、政策提言と監査をする発言の場。

地域おこし協力隊という人材誘致！

堀：地域を創造するには、若者、ばか者、よそ者が必要と言われて
います。そのよそ者を集める仕組みとして、地域おこし協力隊制度
の活用を提案します。地域課題が多くなる人口減少下に有効な
施策ではないかと思いますが、お考えをお聞かせください。

企画政策部長：平成21年度より総務省が制
度化しており、制度の効果としては、外部から
の視点による地域活性化や任期満了後の定
住などが挙げられます。10月末までに策定予
定の地方版総合戦略で、地域おこし協力隊が
担う役割などのあり方を検討します。

▼詳しくはこちら



堀直人の着眼点

市民が課題解決に懸命になるほど困難はのしかかり、一人でも担
い手がいれば、そういう場面を多く見てきたため、行政しかできな
い環境整備を求めました。翌年7月に導入され、4名が着任しました。

サテライトオフィスで良質な業務誘致！

堀：サテライトオフィスやテレワークには、企業誘致と同時に、空き
家対策、商店街活性化など、多様な問題を解決する可能性を秘
めています。江別市の活性化と課題解決のためにも積極的に推
進されてはと思うものですが、お考えをお聞かせください。

市長：国は、地方創生の基本目標の一つとし
て、テレワークを推進しています。企業の拠点
を誘致することは、雇用の創出や経済活性化
につながると認識していることから、国の制度
の情報収集をするともに、企業のニーズや動
向を把握し、積極的に進めます。

▼詳しくはこちら



堀直人の着眼点

サテライトオフィスを持つ企業の方に、東京は人材が足りてないの
で、どの地方でもニーズがあると聞きました。その後、日南市の油津
商店街を調査し、市民の方々と江別ならではの方法を考えてます。

マーケティングで戦略的な行政を！

堀：相手目線、つまり行政目線ではない視点からの政策立案が
求められます。地域間競争時代という環境変化から、自治体の生
存戦略の明確化が急務です。戦略策定を支援するマーケティ
ング担当部署が必要だと思いますが、お考えをお聞かせください。

市長：提供する価値を最も必要とするター
ゲットに絞り込んで、最大の効果を上げるプロ
セスであるマーケティングの必要性につい
ては、認識をしております。担当部署の必要性は、
市全体の政策展開のなかで、組織のあり方を
含め、必要な体制について研究します。

▼詳しくはこちら



堀直人の着眼点

マーケティング発想は、市民目線による質の高い行政サービスに
も不可欠です。この項目では、ブランド構築についても質問し、本物
の重要性を示し、本物を創り出すクリエイターの活用を求めました。

観光政策による市民生活の向上！

堀：地方公共団体は、住民福祉の増進を図ることを基本とすると
地方自治法には定められています。観光を税収につなげ、行政
サービスで市民に還元するという、市民が実感できる観光政策が
求められると思うものですが、お考えをお聞かせください。

市長：平成28年度の観光入込客数は、104万
6,000人となりました。人が集まることが、地域
経済の発展につながることを市民にPRしてい
くことについて、現在策定中の江別市観光振
興計画に盛り込むことも一つの方策だと考え
ておりまして、そのような対応を検討します。

▼詳しくはこちら



堀直人の着眼点

約半分が市外通勤という江別市民が実感できる観光は、歳入増
によるサービス向上であり、ふるさと納税との相乗効果も重要です。
観光入込という一部分で測る観光政策は、奥行きがありません。

ふるさと納税で市民の創造的活動を応援！

堀：寄せられたふるさと納税は、協働のまちづくりを推進してい
くためにも、市民のプロジェクトを応援したいと思う寄附者の想い
に応えるためにも、市民のプロジェクトを支援する事業にも活用
すべきと考えますが、お考えをお聞かせください。

総務部長：市民の創造的活動に市が支援す
ることは、市民協働を進めていくために重要な
ことであるため、ふるさとふれあい推進基金や
市民協働推進事業などを通じ、市民のプロ
ジェクトを支援しております。今後は、これら事
業へのふるさと納税の活用を検討します。

▼詳しくはこちら



堀直人の着眼点

ふるさと納税によるクラウドファンディングは、通常よりも資金調
達が容易なため、前回の質問で市民活動への活用を求めました。
最近では、国もこうした活用を推進しており、事例が増えています。

職員の多様性と専門性の確保が必要！

堀：職員の可能性を引き出すため、画一的な採用／異動／育成
ではない制度を構築すべき時代にあると考えます。事務職の専
門職採用の導入、エキスパート制度の対象拡大など、既成概念
にとらわれない柔軟な人事について、お考えをお聞かせください。

総務部長：市民ニーズの複雑化と多様化が
進むなか、職員の育成は大変重要であり、市
民サービスの向上にむけて、職員が意欲と能
力を最大限に発揮できる人事制度の確立に
努めます。議員ご提言の趣旨も踏まえ、エキ
スパート型任用制度も含めた手法を研究します。

▼詳しくはこちら



堀直人の着眼点

夜遅くになっても、市庁舎の電気が消えません。職員の残業が心
配です。市民生活を豊かにする質の高い仕事を実現してもらうた
め、職員の使命感に応えられる職場をつくりたいという想いです。

堀直人が一般質問で提案してきた内容（大項目を記載）

●平成27年第2回定例会：江別市のシティプロモート／江別市のブラン
ド戦略／地域おこし協力隊制度の活用 ●平成27年第4回定例
会：江別市のデスティネーションマネジメント／江別市における人材誘
致や頭脳誘致の施策 ●平成28年第2回定例会：市民の生活の質を
向上させる公立図書館 ●平成28年第3回定例会：江別市における
マーケティング戦略／江別市の観光行政 ●平成29年第1回定例

会：ふるさと納税によるクラウドファンディングの活用／サテ
ライトオフィスとテレワークの推進 ●平成29年第3回定例
会：江別市ならではの市民福祉を向上させる従来型ではな
い観光政策 ●平成29年第4回定例会：地域と大学の連携
／協働のまちづくり／計画的なシティプロモートの推進 ●
平成30年第1回定例会：第6次江別市総合計画／職員人事

▼詳しくはこちら



シティプロモートで風土と文化を育む！

堀：子孫に残したい江別の食や風景など、わたしたちが大事にし
ている豊かな日常こそが、シティプロモートの原点です。良質な
文化を形成する風土といった、シティプロモートの根っこをいか
に育んでいくのかについて、お考えをお聞かせください。

市長：市民がまちの魅力を実感し、共通認識
とすることが重要と考えております。これまでも
江別市の魅力を実感する機会の創出に努め
てきましたが、今後も江別市のよさを感じ、自
信を持って発信できる風土・文化づくりの取り
組みを土台とし、市民協働を進めます。

▼詳しくはこちら



堀直人の着眼点

ルソーは、食べることで自己保存の知恵を学ぶことが教育の原点
と述べているそうです。グルメ情報だけではなく食の価値など、ス
トーリーのある魅力が重要。表面的な情報は、すぐ忘れられます。